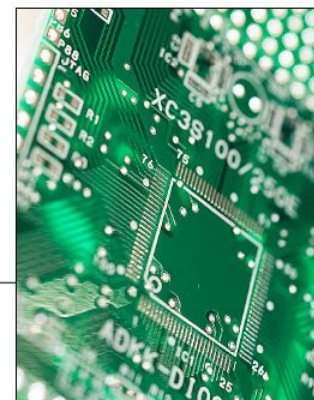




# 2019年3月期 第1 四半期 決算説明会資料

証券コード 3559 株式会社ピーバンドットコム

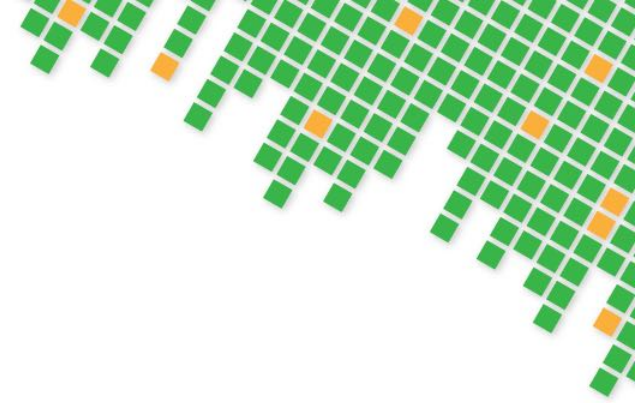


2018年8月13日

# 1. 第1四半期決算概要

# 2. 今後の事業戦略

# 参考資料. 当社の事業概要



# 1. 2019年3月期 第1四半期 決算概要

---

## 決算ハイライト — 2019年3月期 第1四半期 —

## 業績

売上高	482	百万円 (前期比 6.4% 増)	↑
営業利益	68	百万円 (前期比 12.0% 増)	↑
経常利益	68	百万円 (前期比 11.0% 増)	↑
当期純利益	47	百万円 (前期比 11.7% 増)	↑

売上  
トピック

- ・ サービスを一括で利用する **ワンストップ** 利用客の拡大が継続
- ・ **IoT、ウェアラブル** に利用される **基板** の受注が増加
- ・ 国内の **電子回路生産額** は堅調に推移し、需要が増加

利益  
トピック

- ・ **国内外仕入先との連携** で、品質が改善し利益に寄与
- ・ 予実管理の徹底により、**販売管理費** の増加を抑制

売上高・利益ともに昨年実績を上回り堅調に推移。

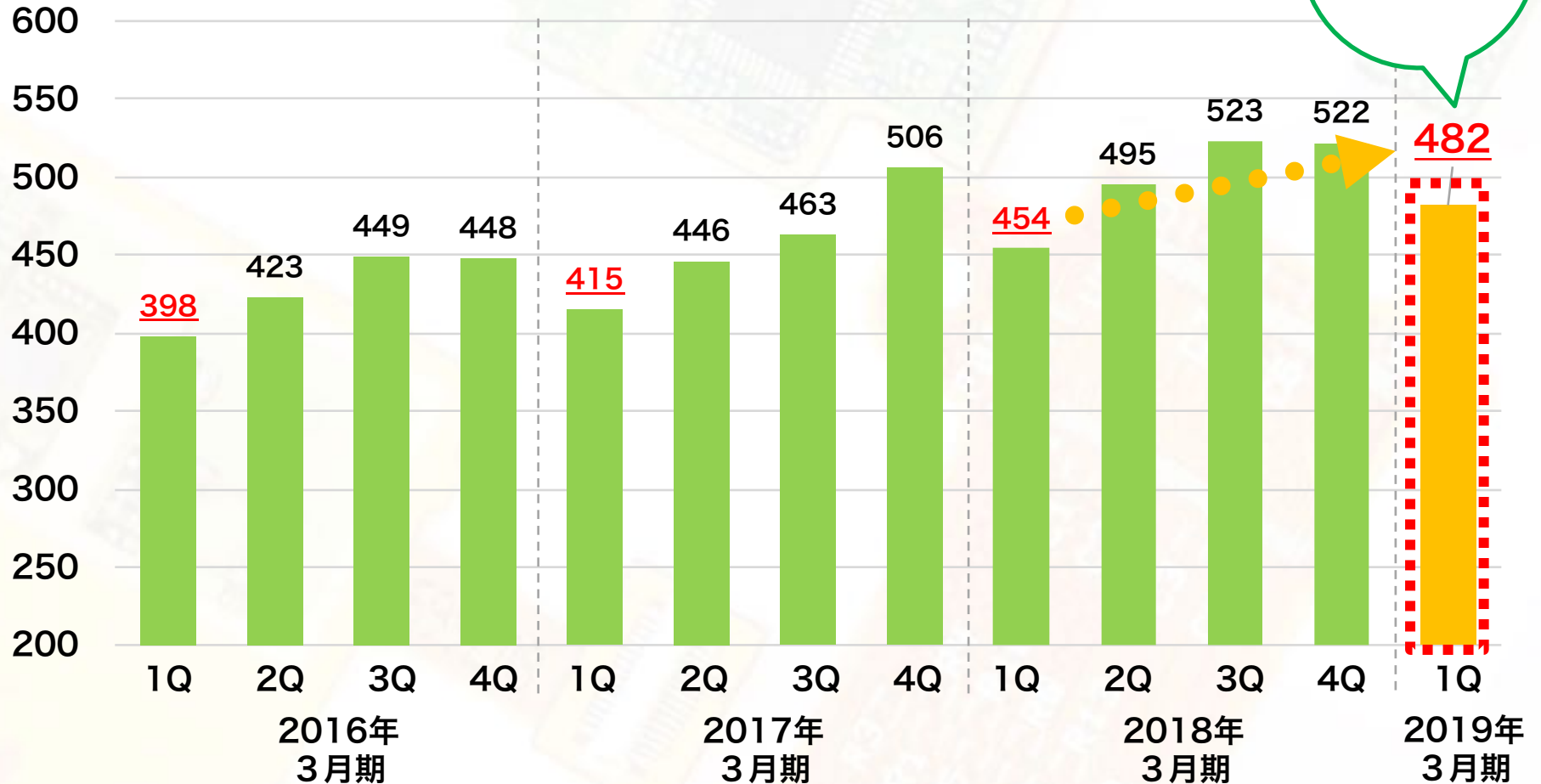
単位：百万円

	前年同期	当第1四半期			2019年3月期 通期業績予想	
	実績	実績	前期比	前期比 (%)	計画	進捗率
売上高	454	482	+28	6.4%増	2,102	23.0%
売上総利益	154	170	+15	10.2%増	725	23.5%
販売管理費	93	101	+8	9.0%増	430	23.7%
営業利益 営業利益率	61 13.5%	68 14.2%	+7	12.0%増	295 14.0%	23.3%
経常利益 経常利益率	61 13.5%	68 14.1%	+6	11.0%増	298 14.2%	22.9%
当期純利益 当期純利益率	42 9.3%	47 9.8%	+4	11.7%増	224 10.6%	21.0%

## 前年同期比で成長を継続。

※当社売上高は、過去実績の通り季節変動があります

(百万円)



※2017年3月期第2四半期以前の数値は参考値です。

## サービスのワンストップ利用が増加

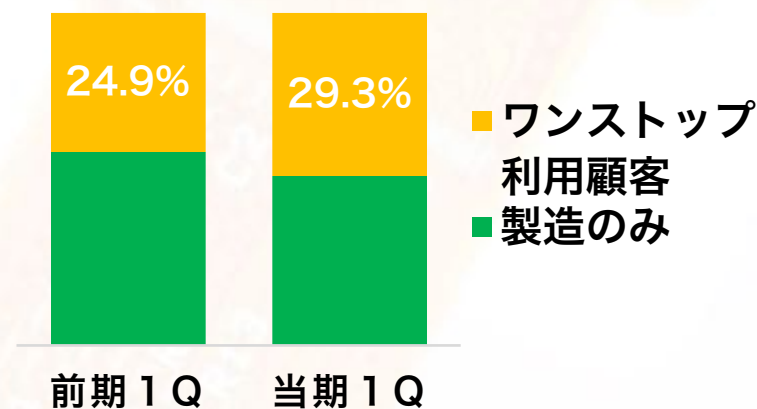
売上の柱である製造サービスの利用が増加したことに加え、  
**サービス信頼性の向上**、部品実装サービスの需要が高まり、  
設計・製造・実装の**ワンストップ利用顧客が増加**。

売上構成比

全体に占めるワンストップ利用顧客は、

**16.1%** (前期1Q) → **17.4%** (当期1Q) と増加し、

売上構成比も拡大。



## IoT関連、ウェアラブル機器などに利用される フレキシブル基板や、基板の多層化の受注が増加

※数字は全て前年同期比

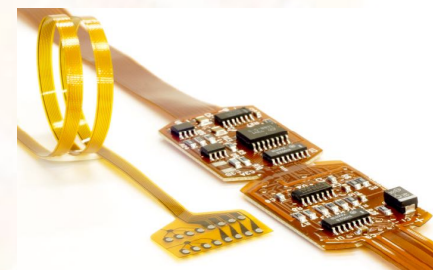
- 高単価のハイスペック基板

フレキシブル基板 売上 **16.0** %増

多層基板 売上 **9.9** %増

- 受入体制の強化、信頼度向上により、

産業機器向けの量産 売上 **35.2** %増



フレキシブル基板



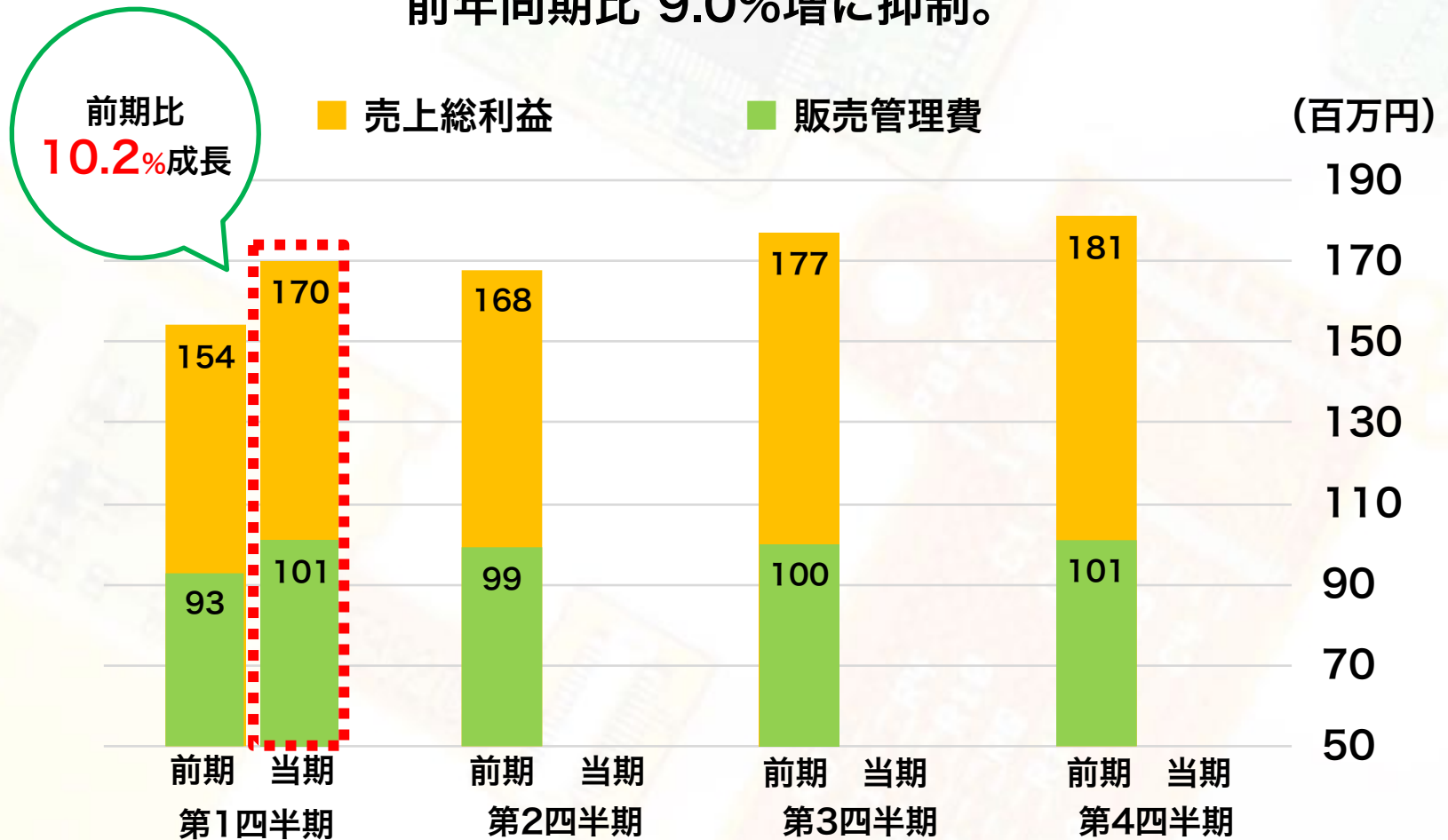
## 国内の電子回路基板生産は堅調に推移

電気機器の軽薄短小化に伴い、集積回路（半導体メモリ）の需要は継続増加。  
電子回路基板（プリント基板）は前期比 **103.7%増**で堅調に推移。

国内電子工業生産実績（出展：JEITA 2018年7月発表）

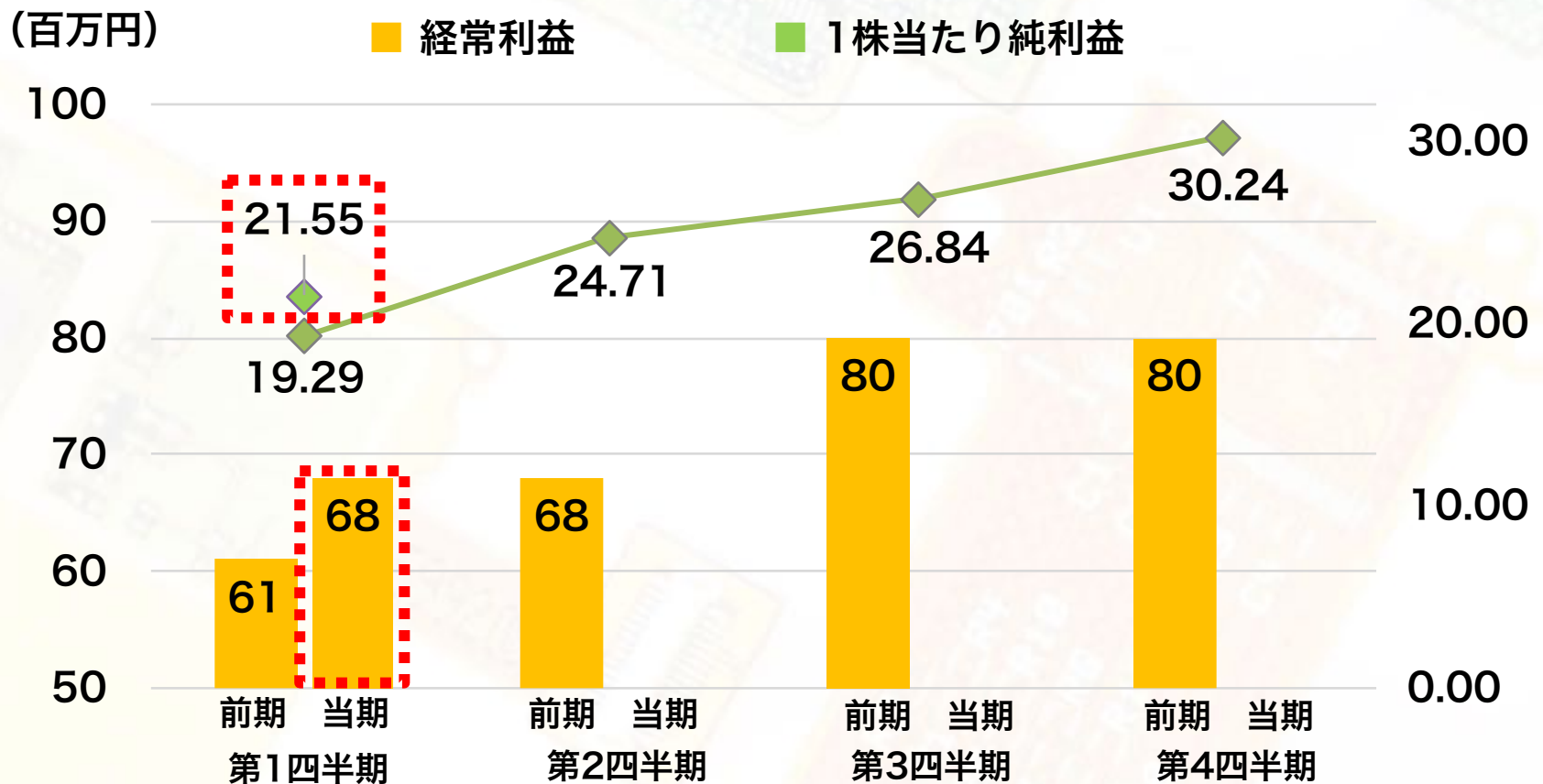
品目	2018年1月～5月累計	
	金額（百万円）	前期比
民生用電子機器	243,880	95.4%
産業用電子機器	1,495,929	100.9%
電子部品	1,084,489	104.8%
└ 電子回路基板	194,886	<b>103.7%</b>
電子デバイス	1,990,217	96.2%
└ 集積回路（IC）	1,112,347	<b>108.6%</b>
電子工業計	4,814,515	99.4%

1Q単体で売上総利益170百万円、前年同期比 10.2%増加。  
販管費は、SE・営業部門の専門人材強化等により101百万円、  
前年同期比 9.0%増に抑制。



※平成29年3月期第2四半期以前の数値は参考値です。

経常利益は68百万円、前年同期比11.0%増加、  
1株当たり純利益は21.55円、前年同期比11.7%増加。

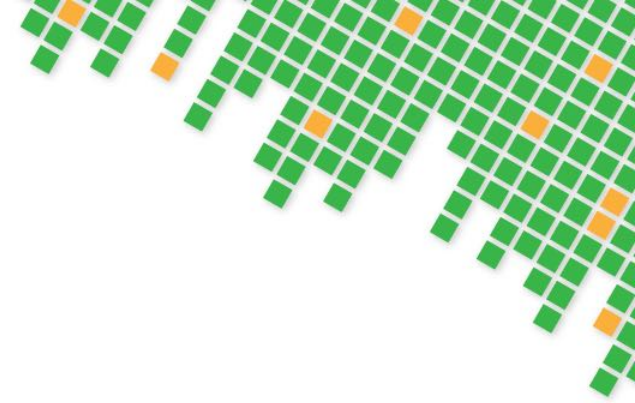


※平成29年3月期第2四半期以前の数値は参考値です。

## 四半期純利益により、自己資本の充実を図る。

単位：千円

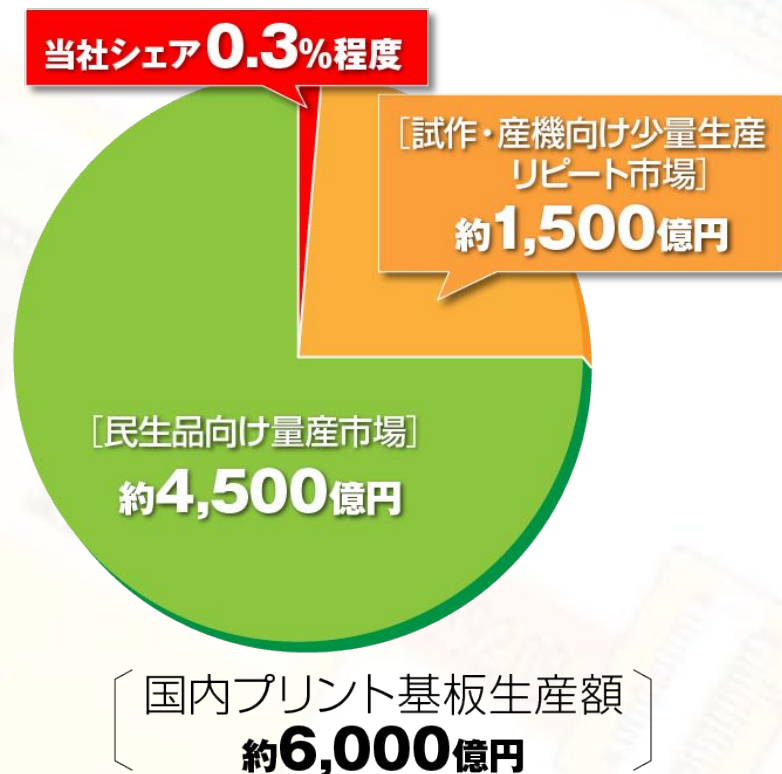
	前期末	2018年 6月末	前期末比	説明
流動資産	1,077,817	1,036,020	▲41,797	期末配当金、法人税、消費税等の 支払いにより現預金が減少
現金及び預金	790,914	784,361	▲6,553	
売上債権	260,050	232,066	▲27,984	
貸倒引当金	▲4,743	▲4,616	127	
固定資産	64,433	69,838	5,405	季節性により第1四半期の売掛金は 減少
ソフトウェア	29,839	30,658	819	
資産合計	1,142,251	1,105,859	▲36,391	売掛金の減少
流動負債	335,853	273,791	▲62,061	法人税、消費税の支払により減少 支払サイトが長い国外仕入が増加
買掛金	206,858	203,278	▲3,580	
固定負債	9,372	9,744	372	
負債合計	345,225	283,536	▲61,689	
純資産の合計	797,025	822,323	25,297	自己資本比率69%→74%
負債・純資産合計	1,142,251	1,105,859	▲36,391	



## 2. 今後の事業戦略

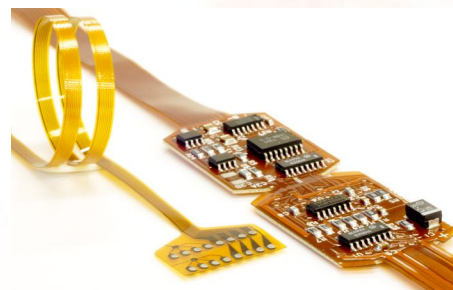
---

2018年のプリント基板国内生産額は6,249億円、1.6%成長の見込。  
前期の当社売上高は19.9億円で市場シェアは0.3%程度で、  
当社の**市場獲得余地は大きい**。



第4の産業革命と呼ばれる“IoT”により  
センサー市場は10年で**320%**増加（金額）  
の見通し。

**IoT、ウェアラブル等に使用される  
軽薄短小、屈曲性のあるプリント基板の需要  
が拡大していく。**



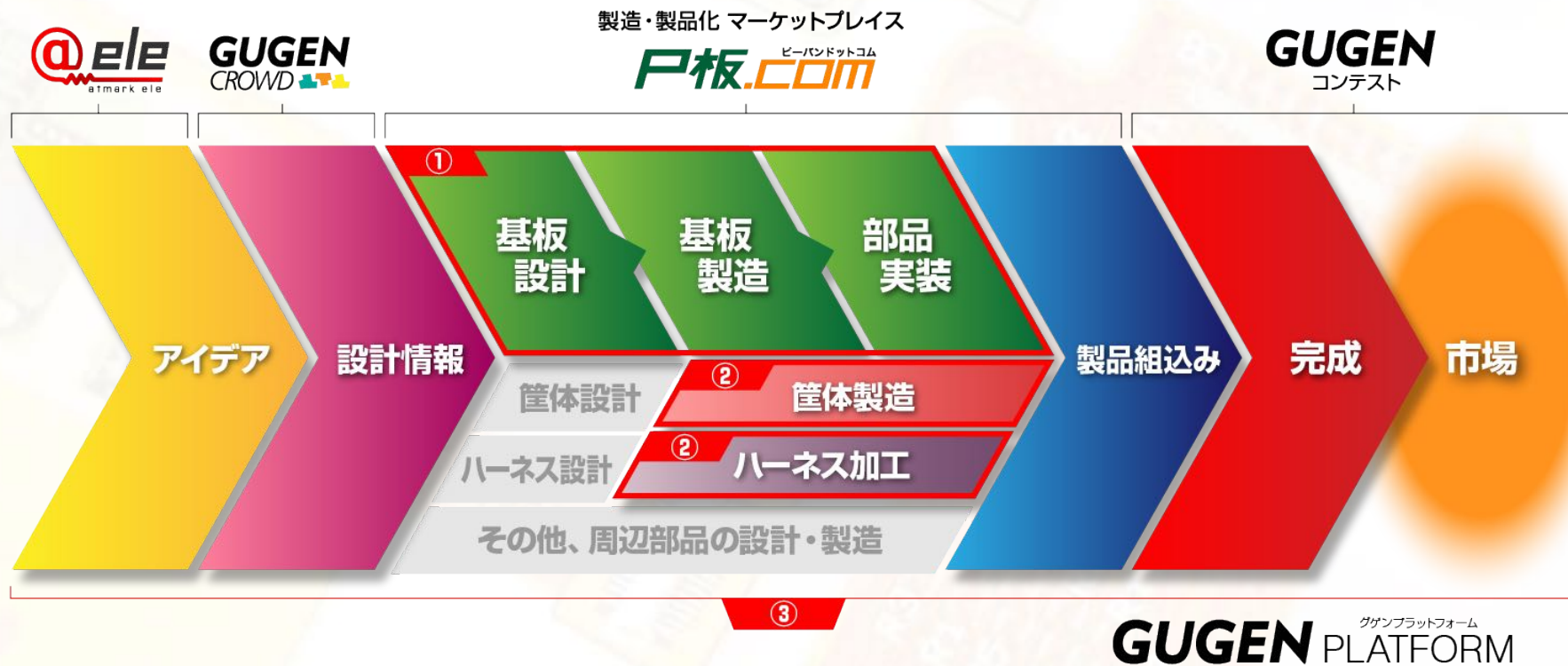
屈曲が可能な  
フレキシブル基板



極小化に用いられる  
ビルドアップ工法

経営スローガン「開発環境をイノベーションする」に基づいた、モノづくりの工程を支える**GUGENプラットフォーム強化に投資し、市場の獲得を加速**していく。

- ① ワンストップソリューションの利用促進
- ② 基板周辺の実装アイテム数を拡大
- ③ 他社との連携によるバリュー・チェーン強化



## ① ワンストップ・ソリューションの利用促進

- **WEBサイトの改善**によるユーザビリティの向上 (第2四半期)
- 専用ツール導入で**顧客提案を強化** (第2四半期)
- **対面フォロー**によるサービス利用促進 (第2四半期)
- **社内SEによるAI活用**でユーザーへのアプローチを改善 (第3四半期)
- **市場の需要に合わせた基板商材ラインナップの拡大** (第4四半期)
- **部品調達サービスの利便性を強化** (第4四半期)

上記施策により、ワンストップ利用顧客を全体の **25%**に上げる



## ② 基板周辺の取扱いアイテム数を拡大

- ハーネス加工サービスの1-Click見積化 (第2四半期)  
2016年よりテスト販売を開始、取引の増加に伴い、WEB上で瞬時に見積～注文が完結するように「1-Click見積」化を行い、利便性を向上させる。

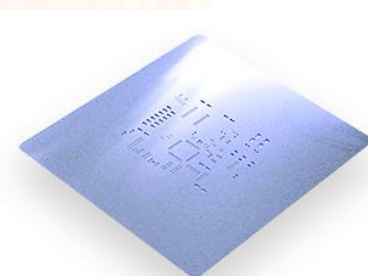
ハーネス受注数を30%増加させる



カーエレクトロニクス  
にも利用される  
ワイヤーハーネス

- メタルマスク製造サービスの充実  
2017年より、部品実装作業に必要な部材の簡易型のメタルマスクを販売開始。  
部品極小化に伴い需要は高い。利便性を向上させる。

メタルマスク受注数を20%増加させる



試作での部品実装向けに  
手頃な簡易メタルマスク

## ③ 他社との連携によるバリュー・チェーン強化

### ● 藤岡戦略技術顧問の就任

2018年6月、戦略顧問に藤岡氏を迎え、  
将来の事業拡大に向けた、**他社との連携に向け準備を進めている。**

株式会社ジェネシスホールディングス  
代表取締役社長 藤岡 淳一氏

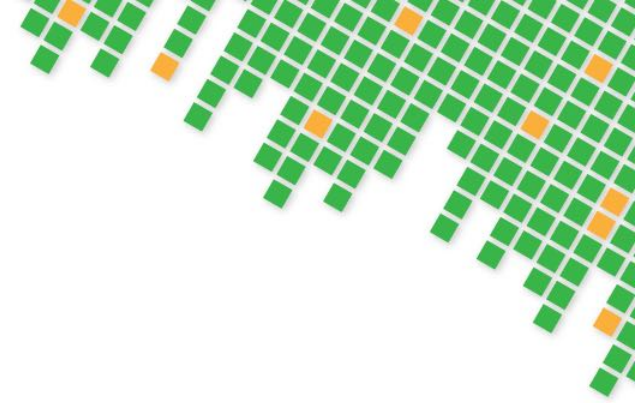
#### <その他活動>

- ・ 経済産業省スタートアップファクトリー  
構築事業運営アドバイザー
- ・ KDDI∞LABOハードウェアアドバイザー
- ・ ニコニコ技術部深圳コミュニティ共同発起人

※ 他の経歴等の詳細はプレスリリースを参照ください  
<https://www.p-ban.com/ir/>



藤岡氏は、2001年より赤いシリコンバレーと呼ばれる中国深セン市を拠点に活動している



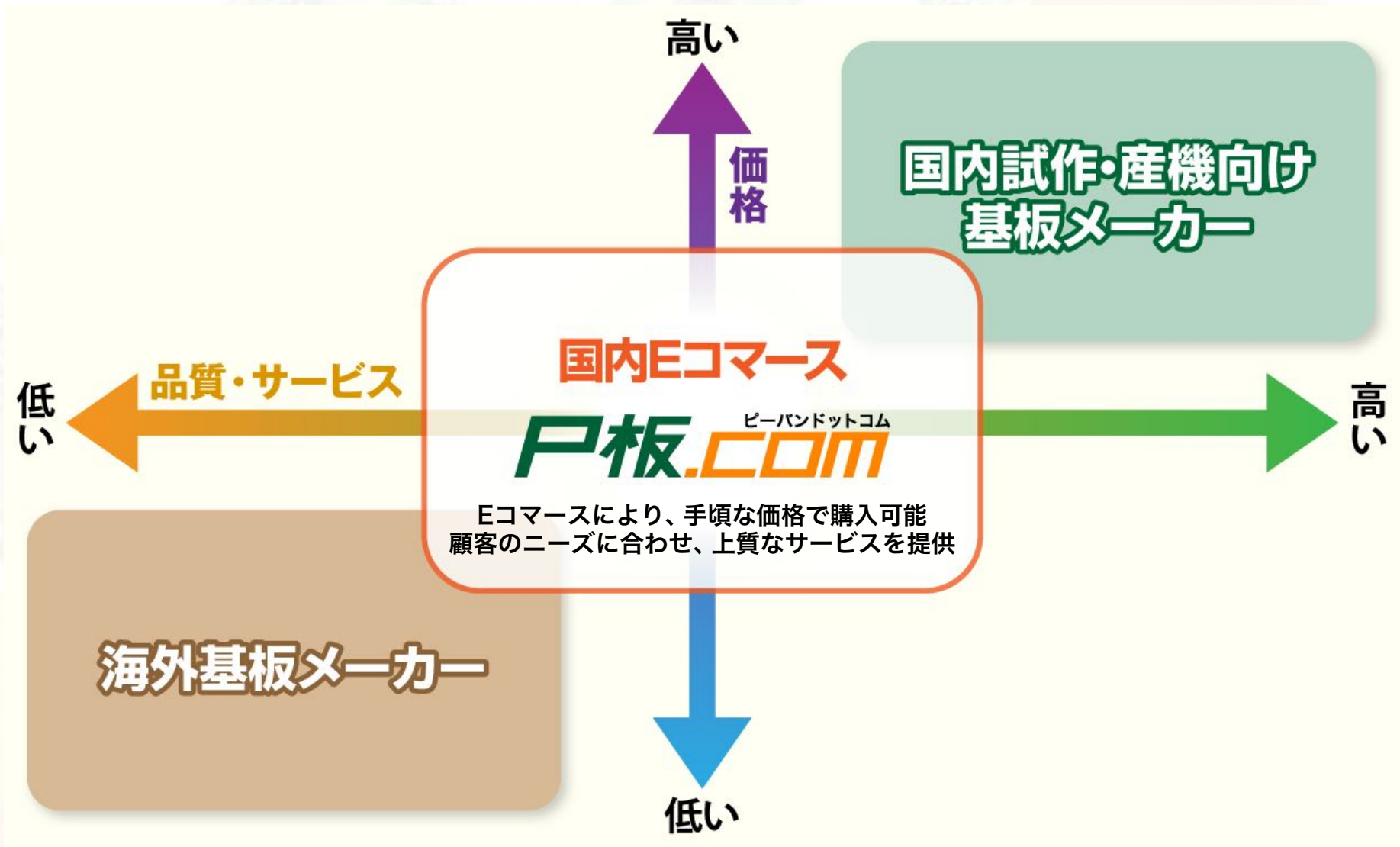
# 参考資料. 当社の事業概要

---

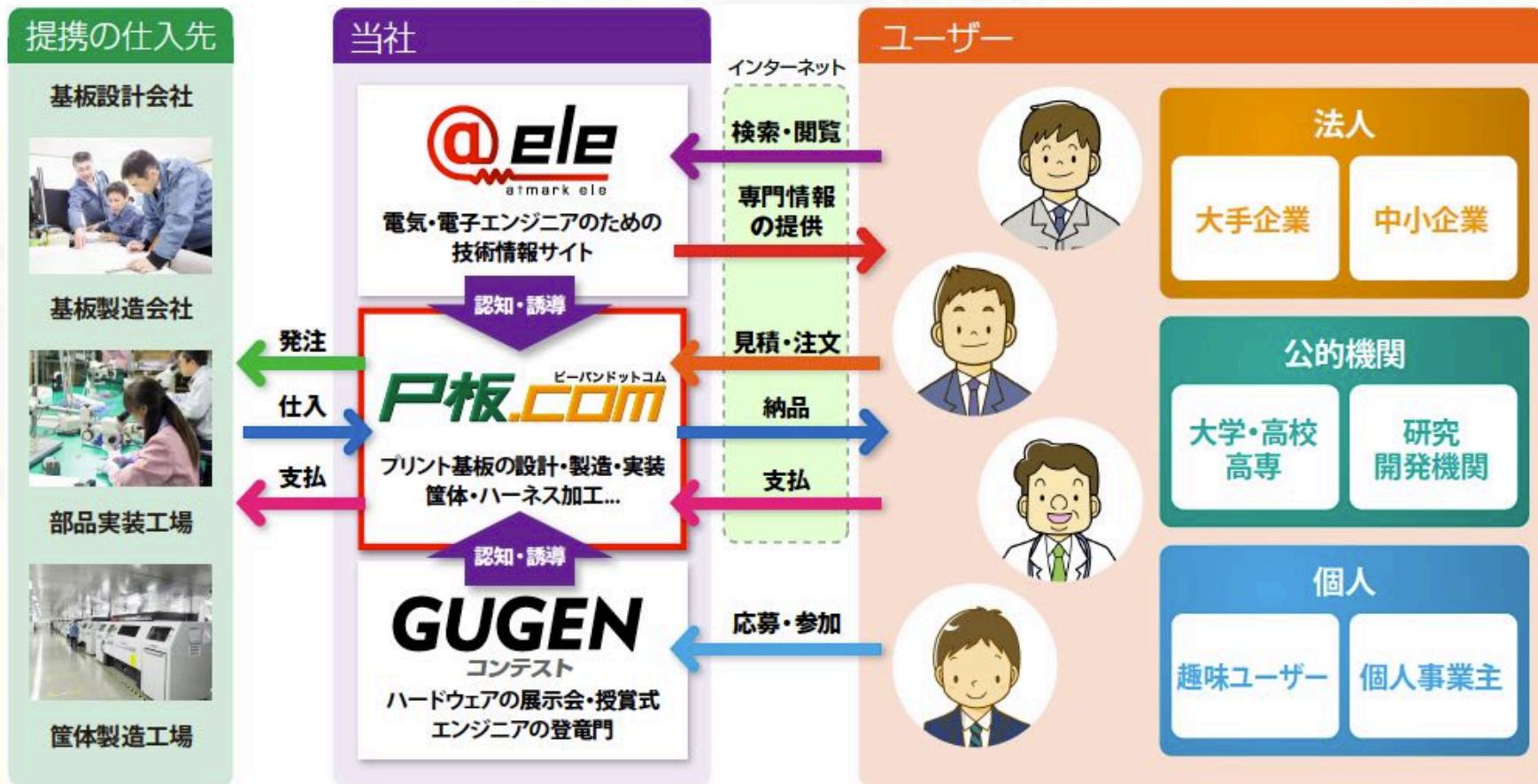
社名	株式会社ピーバンドットコム / p-ban.com Corp.
本社	東京都千代田区五番町14国際中正会館10F
設立	2002年4月（2017年3月東証マザーズ上場）
代表者	代表取締役 田坂 正樹
資本金	147,850千円
従業員	27名（正社員21名・臨時雇用6名） 平成30年7月現在
事業内容	プリント基板のマーケットプレイス P板.com（ピーバンドットコム）を中心とした、 ”GUGENプラットフォーム”の運営
会計監査人	EY新日本有限責任監査法人

# 開発環境をイノベーションする

テクノロジーを進歩させることで、  
社会問題解決を進める技術と製品を生み出し、  
人類の平和と繁栄を創り出す。



## プリント基板が誰でも手軽に注文できる仕組みを提供





## プリント基板のEコマースサイトを運営

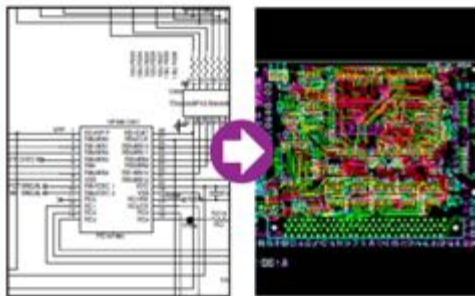
⇒ <https://www.p-ban.com/>

大企業から中小企業、個人、学校法人まで4万9千ユーザーが登録、  
設計・製造・実装の見積、注文をインターネットで完結出来るのはP板.comだけ！

### プリント基板の 設計サービス

(無料CAD提供サービス含む)

電子回路図 (トランジスタ、半導体等の部品を繋げた図) を元に、部品の位置を決定し、プリント基板の製造に必要なレイアウトデータを設計する。



回路図データから、基板製造用データを作成。

### プリント基板の 製造サービス

製造用のデータを元に、銅はくが張られた基板から不要な銅を科学反応で除去し、データ通りのレイアウトとなるように基板を製造する。

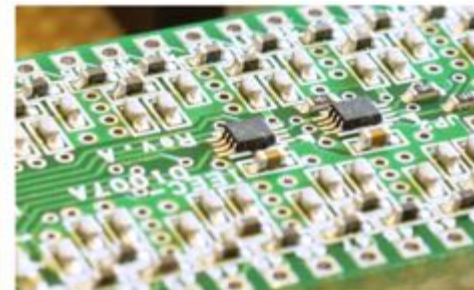


基板製造用データを元にプリント基板を製造。

### プリント基板への 部品実装サービス

(部品調達サービス・無料部品提供サービス含む)

製造した基板の上に、電子部品をはんだで取り付ける。部品の数や形状により、技術者による手実装と機械 (マウンター機) 実装を使い分ける。

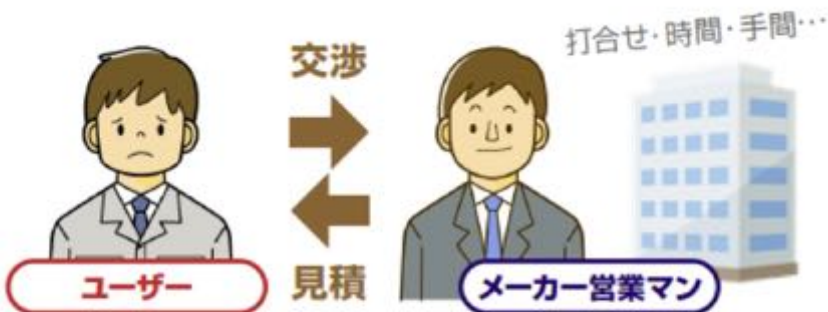


プリント基板に電子部品をはんだ付け。



## 〈従来の購買方法〉

営業マンとの対面で交渉し見積提示、発注に至る



交渉がメーカー主導で、開発者の負担が多い  
もっと手軽に基板の作成を行いたい!

定価がなく、メーカーの言い値

高額なイニシャル費用が掛かる

納期は工場ラインの繁忙状況に左右される

纏まった枚数がないと受け入れられない

## 〈当社サービス〉

ウェブサイト上で自動計算で見積提示、発注出来る



誰にも公平な見積が提示され、余計な交渉が不要!  
誰もが手軽に基板を作成出来るサービス

仕様で価格が決まる

イニシャル費用が無料

仕様で納期が決まる

1枚から注文可能



回路・基板設計に特化した技術情報サイトを運営  
エンジニアを集客し、P板.comの認知を拡大する。

⇒ <https://www.atmarkele.com/>

業界の権威に記事  
執筆を依頼し、  
信頼性の高い  
コンテンツを作成

@eleの主な著者

前田真一氏

沼倉研史氏



毎月4~10  
コンテンツを  
更新中

### 主要コンテンツ

基板の常識  
(リジット/フレキ)、  
CADマスターへの道、  
レジスト、層構成、  
シルク、部品実装、  
基板製造、基板設計、  
配線、他

プリント基板に特化した内容で、基本から応用まで幅広くカバー

オリジナルハードウェアコンテスト

## GUGEN

「実用性・商品性」の高い  
国内最大級の  
ハードウェアコンテスト  
Makersの登竜門

若手エンジニアや学生にスポットを当て、  
業界の活性化を目指す



GUGEN2016の大賞作品”bioSync”。  
動きを共有することでパーキンソン病  
等の解決を目指すデバイス

2009年から毎年、ハードウェア作品コンテストを開催  
エンジニアの裾野拡大を図る。

⇒ <https://gugen.jp/>



最多応募数 **205** 作品  
最多動員数 **500** 名超

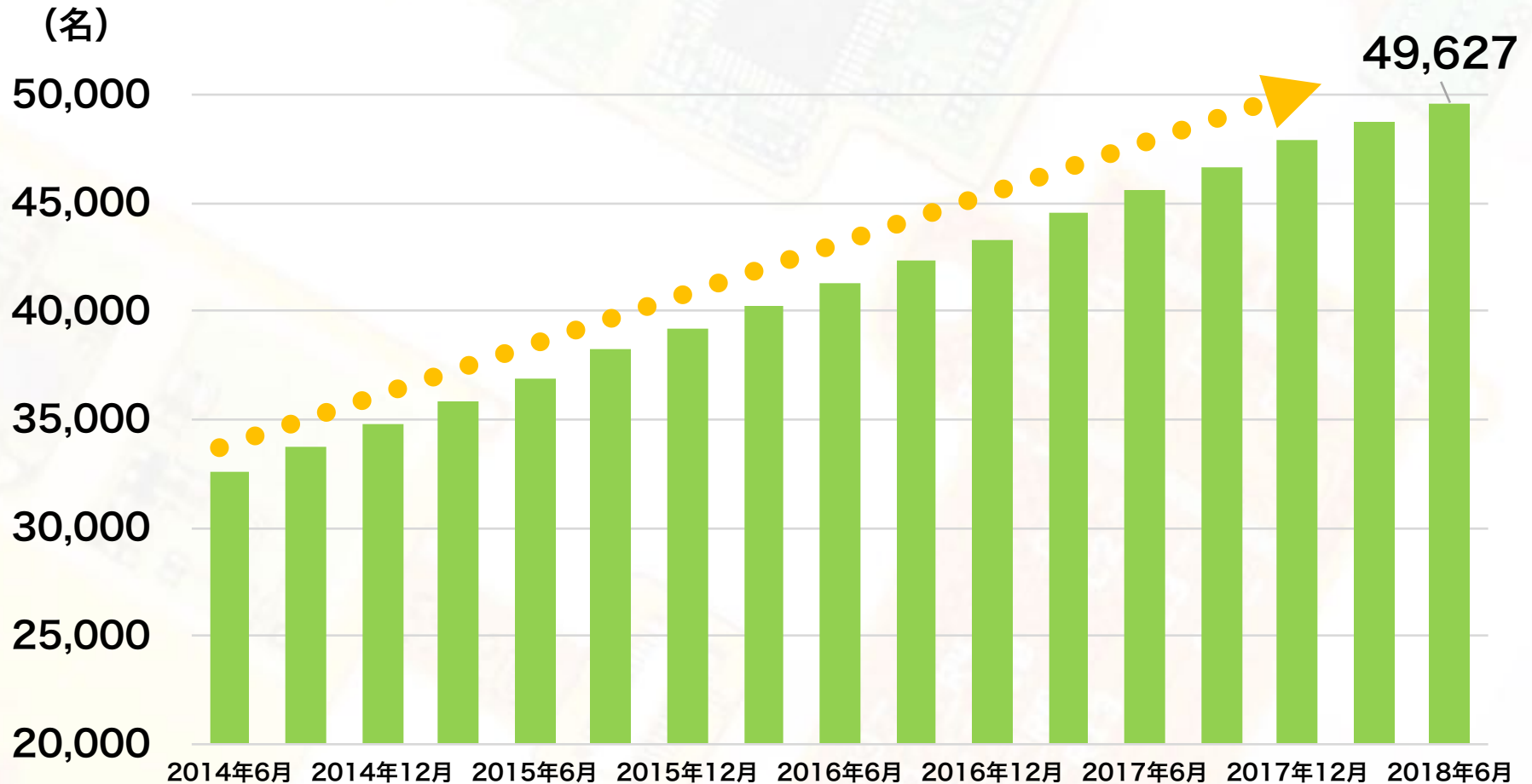


GUGENから生まれた筋電義手。  
現在ではオープンソース化され、  
義手の拡大に貢献

GUGENの活動は  
多くの企業から評価され、  
スポンサーは年々増加  
コクヨ、マイクロソフト、インテル、  
DMM.make、さくらインターネット、他



登録ユーザー数は、累計4万9千名を突破、  
継続成長を目指す。



当社は、2017年3月期第3四半期より四半期財務諸表を作成しており、2017年3月期第2四半期以前は監査法人による監査を受けておりません。

よって、本資料における2017年3月期第2四半期以前の数値は参考値として掲載させていただきます。

実際の業績等は今後の様々なリスク要因や不確実な要素により、本資料業績予想と大きく異なる可能性があります。

本資料は、投資勧誘目的で作成されたものではありません。実際に投資を行う際は、本資料を全面的に依拠した投資判断を下すことはお控えください。